



# ザンビアの経済概況・月報(2017年10月)

主なマクロ経済指標	2016年	2017年
1. 人口 (百万人)	16.21(2015)	-
2. 人口増加率 (%)	3.11 (2015)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	11.9 (Q1)
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,154(2015)	-
6. GDP成長率 (%)	2.9(est)	4.0(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,490(2015)	-
8. インフレ率 (%)	18.2	6.4(Oct)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	183.66	197.10(Oct)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	325.0(est)	-429.87*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-22.90*4	97.68*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	7,036.0	5,844.53*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	24.13*4	136.62*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	6,710.0	6,274.40*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	47.03*4	38.94*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-283 (2015)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,653(2015)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,195(est)	2,430(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	6,900(Dec)	7,560 (August)
21. 為替レート (対米ドル)	9.81ZMW (end-period)	9.76ZMW(Oct)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	11.0

※( )内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

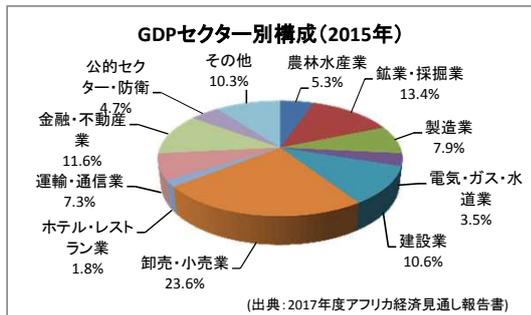
*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2017年1月から9月までの貿易額。1USD=9.40ZMW(2017年9月までのザンビア中央銀行が替相場月間平均)を用いて換算
*3 2017年1月から9月までの貿易額。1USD=112円(2017年9月までの日銀基準外為替相場月間平均)を用いて換算
<2017年9月>
主要輸出品目: 銅/コバルトの酸化物及びコバルトの水酸化物/植物油
主要貿易相手国(輸出): スイス 35.3%, 中国 18.4%, 南アフリカ 8.6%, コンゴ(民) 7.7%, シンガポール 6.9%, その他 23.1%
主要輸入品目: コバルトの酸化物及びコバルトの水酸化物/精製銅/石油及び歴青油/軽油/機械類
主要貿易相手国(輸入): コンゴ(民) 28.3%, 南アフリカ 26.4%, 中国 10.6%, クウェート 4.5%, アラブ首長国連邦 4.0%, その他 26.2%
*4 1USD=111円(2016年(平均値)の日銀基準外為替相場)を用いて換算
<出典>
1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21(2016): Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21(2017), 22: Bank of Zambia

## <ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax):** 35%。  
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権利(Mineral Royalty):**  
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**  
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



## 主要な経済ニュース(10月)

### 1. “ムタティ財務大臣が課税を弁護”(Times, 3日)

ムタティ財務大臣は、2018年予算に含まれる税制措置の数々は、ザンビア政府の援助基金への依存を軽減し、将来の国内予算を安定化させるためだと述べた。

### 2. “世銀が、増え続けるザンビアの債務を懸念”(Times, 4日)

世銀は、イナ・ルセーバーク・カントリーディレクターを通して、ザンビアの経済成長を制限する要素である、債務に対して懸念を表した。国会で行われた2018年予算演説において、ムタティ財務大臣は、ザンビアの国内外の公的債務が、GDP比47%の1,149億クワチャ(約124.5億米ドル)であると発表した。対外債務はGDP比29%の75.6億米ドルで、国内債務はGDP比18%の446億クワチャである。

### 3. “ザンビア経済は強靱性と安定性を見せている”(Times, 11日)

アフリカ開発銀行(AfDB)は、過去2年間でザンビア経済は強靱性と安定性を見せており、アフリカ経済において重要な役割を果たしていることを証明していると述べた。アフリカ開発銀行のダイモニ・キタビシ常駐代表は、現地経済は成長を迎えただけでなく、安定性も見せていると発言した。

### 4. “IMFはザンビア経済の見通しを歓迎”(Times, 12日)

IMFは、降水量の増加と銅の国際価格の上昇により改善をみせた、ザンビア経済の見通しを歓迎した。IMFは、外因性の経済ショックと総選挙実施を原因とした厳しさに欠ける財政政策により、2015年の第4四半期から2016年を通して、ザンビア経済は危機に面していたと述べた。

### 5. “電力不足が緩和”(Times, 16日)

ムタティ財務大臣によると、2015年には50%であったザンビアの電力不足率が、今年は約10%まで減少した。2018年には需要と供給が釣り合い、余剰分も記録される見込みだと、ムタティ財務大臣が発言した。

### 6. “IMFとザンビアが救済措置について協議”(Times, 19日)

ザンビア政府は、当局がIMFに求めている経済的支援について、IMFと協議を行った。協議中にIMFは、ザンビア側が様々な分野で残した好結果を評価したが、ザンビアが面している債務ショックと返済の持続可能性について言及した。

### 7. “ザンビアの魚の生産量が増加—ルング大統領発言”(Daily Nation, 22日)

2012年には12,988トンであった魚の生産量が、2016年には30,285トンであったと、ルング大統領が発表した。ルング大統領によると、この増加は政府が養殖を推奨してきた結果である。国内の生産を支援し、輸入の割合を減らすことが必要であると、ルング大統領は発言した。

### 8. “政府が電気法を見直し”(Daily Mail, 23日)

政府は、ザンビア電力公社(ZESCO)に限らず、独立した発電事業者(IPP)が顧客に電気を販売できるよう、電気法を見直している。マブンバ・エネルギー大臣は、電気の生産量増加と石油及び電気サブセクターの競争の活性化を保障するため、様々な改革を行っていると言及した。

### 9. “多くの日本人投資家がザンビア市場を注視”(Daily Mail, 30日)

日本政府は、貿易と協力の推進の手段として、さらに多くの日本人投資家がザンビアに投資することを望んでいる。中根一幸外務副大臣は、東京で行われたザンビア独立53周年を祝う式典において、アフリカの経済成長に資するため、さらに多くの日本企業がザンビアや他のアフリカ諸国に進出することに対して、日本政府は積極的であると発言した。さらに、日本とザンビアが既に日・ザンビア投資協定について協議している点を強調した。